

決算審査 特別委員会

平成29年度の一般会計、各特別会計（国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業、温泉事業）、企業会計（水道事業、下水道事業、病院事業）の決算は、9月10日から12日までの3日間開催された、議員全員で構成される決算審査特別委員会で審査され、いずれも認定すべきものと決まりました。

主な質疑を要約し、掲載します。

一般会計

質問 市税の収納率は。

答 現年度課税分は全体で99・3%です。

質問 移住・定住支援事業の成果と今年度の見込みは。

答 住宅取得・改修

補助事業により、37世帯103人が移住しました。今年度は8月末時点で24人が移住予定です。

質問 婚活支援事業の参加者数が増えた理由とカップルの数は。

答 出合いイベントや婚活支援セミナーの開

催にあたり、ホームページや広報等で周知に努めました。お付き合いが始まったのは2組です。

質問 がん検診の受診率が減少した原因は。

答 未受診者に対して書面通知や電話勧奨等を行ってきましたが、特に40代、50代の新規の受診者数が年々減少傾向にあるためです。

質問 新規就農・移住就農者数と、そのうち途中でやめた人数は。

答 これまで農業次世代人材投資資金の交付を受けた新規就農者は31名で、そのうち市外からの移住者は5名です。やめた人は2名います。

質問 森林組合等の造林事業への補助が予算額を下回った理由は。

答 植栽面積が当初計画の約78%にとどまったこと、また林家が業者に請け負わせるのではな

く直接植栽し、単価が抑えられたためです。

質問 国立公園満喫プロジェクト事業におけるインバウンド対応セミナーの効果は。

答 集客・英語対応のセミナーと、コンサルティングを実施しました。宿泊事業者における英語サイトへの登録や、翻訳アプリの導入、カード決済システムの導入等の成果に結びついています。



訪日外国人を十和田に呼び込もう

質問 地震津波被害で必要と想定される災害用備蓄物資を約3万食確保しようとしているが、達成時期は。

答 平成33年度と設

定しています。また、今年度から食料はアレルギー対応のものに切り替えていく予定です。

質問 特別な配慮を必要とする児童・生徒をサポートする特別支援教育支援員をふやしたが、これからもふやしていくのか。

答 学校からの要望人数と理由や、教育支援委員会で個々の児童・生徒を把握し、支援員を適切に配置していきます。

特別会計

(国民健康保険事業)

質問 特定健康診査の受診率が、60%の目標に対して36・3%にとどまったことへの見解は。

答 健診負担金の無料化、休日健診や、健康とわだポイントラリーの実施等により、受診率はわずかながら増加傾向にありますので、引き続き取り組んでいきます。

企業会計

(下水道事業)

質問 水洗化率が85%代で伸び悩んでいる原因は。

答 下水道を接続するにあたり費用がかかる場合があるため、接続しない方がいると考えます。

(病院事業)

質問 約120億を超える未処理欠損金についての見解は。

答 基本的に経常収益を黒字にしなければ減らしていけないので、今後収支の改善に努めます。



病院事業のさらなる経営努力を